

第4節 健康福祉課

〔統括概要〕

健康福祉課における事務担当は、福祉担当、介護高齢担当、健康増進担当、こども担当で編成されている。

福祉担当では、民生委員児童委員に関すること、地域福祉の推進に関すること、日本赤十字社に関すること。また、身体・知的・精神障がい者手帳の交付をはじめ障がい者を取り巻く環境や生活上の問題等について、相談支援や各種福祉サービスの提供等きめ細やかな対応に努めた。また、戦没者等遺族会等の社会福祉団体の育成指導に関すること、生活保護等生活困窮者の相談支援を行った。

介護高齢担当では、本庁の高齢福祉課と連携し、高齢者が安心して暮らせる地域社会を目指して、各種高齢福祉事業の実施及び介護保険の各種申請受付等業務を実施した。また、第4期藤岡町介護保険事業計画に基づき、地域支援事業の介護予防事業及び任意事業を実施した。地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康維持や生活の安定、保健、福祉、医療の向上、虐待防止など様々な課題に対して、地域における総合的マネジメントを担い、課題解決に向けて、包括的支援事業等に取り組んできた。

健康増進担当では、感染症のまんえん防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種を実施した。また、各種がん検診、歯周疾患検診及び骨粗しょう症検診等を実施し、併せて高齢者の医療の確保に関する法律に基づき衛生部門として、特定健康診査及び特定保健指導を行った。さらに、母子健康手帳の交付、妊婦一般健康診査、乳幼児の健康診査、各種教室や子育て相談、発達障がい等の早期発見、早期支援を目的とした乳幼児発達相談及び小中学校と連携し小児生活習慣病予防健診、健康教育を実施した。健康づくり事業については、生活習慣病予防の推進のため、栄養や運動等に関する健康相談・健康教育事業を行い、自殺予防対策事業では、自殺に対する正しい知識の普及啓発を図るため、こころの健康教室を開催した。渡良瀬の里では、高齢者をはじめ各世代の人たちが交流を深めるコミュニティの場、健康維持を図る施設として管理運営に努めた。

こども担当では、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、子ども手当、赤ちゃん誕生祝い金などの各種申請受付業務を行った。また、幼稚園就園奨励費補助事業については、幼稚園に就園する園児世帯の経済的負担軽減のため、保育料等の減免措置に係る補助金の交付事務を行った。放課後児童健全育成事業については、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対し、遊びを主とする指導を行った。地域子育て支援センターについては、親同士や保育士との交流から、育児に関する情報交換、ストレスや不安を取り除く場として、明るく楽しい子育ての支援に努めた。保育所については、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、一時保育事業の特別保育を実施し、児童の福祉の向上を図った。

福祉担当

1 民生委員児童委員関係

民生委員児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1) 相談・指導状況 (単位：件)

地域福祉・在宅福祉	家族関係	住居	保健・医療・健康	仕事	生活費
217	25	12	29	2	37
年金・保険	非行・養護・健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
4	433	34	1,107	1,900	45.2

(2) 調査等状況 (単位：件)

調査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合・行事への参加	友愛訪問・安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
1,474	71	1,551	4,098	2,726	9,920	236.2

2 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため災害救護を実施した。

(1) 日赤募金

目標額	実績額	達成率
1,957,200円	1,908,400円	97.5%

(2) 災害による救援品配布状況

区分	世帯数	人数	毛布	布団	日用品
火災	3世帯	8人	5枚	5組	3個

(3) 災害見舞金給付状況 (単位：件)

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
3	—	—	—	—

3 地域活動支援センター事業

障害者自立支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創造的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために社会福祉協議会に委託（指定管理）し、実施した。

- ・施設名 藤岡地域活動支援センター
- ・所在地 栃木市藤岡町都賀390-13
- ・開所日数 243日
- ・通所延べ人員 1,982人

4 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区 分		実施状況(人)
交付者数		402
	うち高齢者(80歳以上)	325
	高齢者(65～79歳)	14
	障がい者	47
	腎臓機能障がい者	16

5 身体障がい者の現況(身体障がい者手帳交付状況)

障がい区分	手帳所持者数	平成23年度中交付者数
視覚障がい	33	1
聴覚・平衡障がい	70	4
音声・言語・そしゃく障がい	2	1
肢体不自由障がい	317	30
内部障がい	189	17
複合障がい	23	2
合 計	634	55

6 知的障がい者(児)の現況(療育手帳交付者数) (単位:人)

区 分	障がい児(18歳未満)		障がい者		合 計
	男	女	男	女	
重度(A1・A2)	3	2	24	29	58
中度(B1)	4	2	28	16	50
軽度(B2)	4	1	12	5	22
合 計	11	5	64	50	130

7 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付者数)

区 分	交付者数(人)	比 率(%)
1 級	14	22.2
2 級	37	58.7
3 級	12	19.1
合 計	63	100.0

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、平成23年度は128人が受給した。

8 身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1) 身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

(単位：件)

区 分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義手	-	-	-	-	-	-
	義足	1	-	1	-	-	-
装具	下肢	5	-	5	-	-	-
	靴型	-	-	-	-	-	-
	体幹	-	-	-	-	-	-
	上肢	-	-	-	-	-	-
座位保持装置		1	-	1	-	1	1
盲人安全つえ		-	-	-	-	-	-
義眼		-	-	-	-	-	-
眼鏡	矯正眼鏡	-	-	-	-	-	-
	遮光眼鏡	-	-	-	-	-	-
	弱視眼鏡	-	-	-	-	-	-
補聴器	高度難聴用ポケット型	-	1	1	-	-	-
	高度難聴用耳掛け型	5	2	7	2	-	2
	重度難聴用ポケット型	-	1	1	-	-	-
	重度難聴用耳掛け型	6	3	9	-	6	6
車いす	普通型	-	2	2	-	-	-
	その他	1	3	4	-	-	-
電動車いす		1	-	1	-	-	-
起立保持具		-	-	-	-	-	-
座位保持いす		-	-	-	-	-	-
歩行器		-	-	-	-	-	-
歩行補助つえ		-	-	-	-	-	-
重度障がい者用意思伝達装置		-	-	-	-	-	-
特例補装具		-	-	-	-	-	-
合計		20	12	32	2	7	9

(2) 身体障がい者（児）の日常生活用具の給付

(単位：件)

区 分	身体障がい者	身体障がい児
特 殊 寝 台	2	-
特 殊 マ ッ ト	-	-
特 殊 尿 器	-	-
移 動 用 リ フ ト	-	-
訓 練 い す	-	-
入 浴 補 助 用 具	1	-
体 位 変 換 器	-	-
便 器	-	-
T 字 状 ・ 棒 状 の つ え	-	-
移 動 ・ 移 乗 支 援 用 具	2	-
頭 部 保 護 帽	-	-
特 殊 便 器	-	-
火 災 警 報 器	-	-
自 動 消 火 器	-	-
聴覚障がい者用屋内信号装置	-	-
透 析 液 加 温 器	1	-
ネ ブ ラ イ ザ ー	-	-
電 気 式 た ん 吸 引 器	1	-
点 字 タ イ プ ラ イ タ ー	-	-
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	-	-
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	-	-
視覚障がい者用拡大読書器	-	-
盲 人 用 時 計	-	-
盲 人 用 体 温 計	1	-
盲 人 用 体 重 計	1	-
点 字 デ ィ ス プ レ イ	-	-
聴覚障がい者用通信装置	-	-
聴覚障がい者用情報受信装置	-	-
人 工 喉 頭	1	-
携 帯 用 会 話 補 助 装 置	1	-
情 報 ・ 通 信 支 援 用 具	-	-
点 字 図 書	-	-

ス ト マ 用 装 具	36	-
紙 お む つ	4	2
収 尿 器	-	-
居 宅 生 活 動 作 補 助 用 具	-	-
合 計	51	2

9 身体障がい者の自立支援医療（更生医療）受給状況（単位：件）

種 別	給付決定者数
視 覚 障 が い	-
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	-
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	-
免 疫 機 能 障 が い	-
肢 体 不 自 由	-
心 臓 機 能 障 が い	6
腎 臓 機 能 障 が い	46
計	52

10 障害者相談支援事業

社会福祉協議会大平支所において、障害者の相談支援を行った。

（数値は大平健康福祉課で計上）

11 身体障がい者等福祉関係

・身体障がい者の自立更生について、2人の相談員が相談指導に当たった。

介護高齢担当

1 高齢者人口・生活態様別統計

(1) 高齢者人口（毎年4月1日現在）

区分	年度		
	H21年度	H22年度	H23年度
総人口(人)	17,890	17,666	17,412
65歳以上人口(人)	4,626	4,662	4,675
総人口に対する割合(%)	25.86	26.39	26.85

(2) 高齢者生活態様（毎年4月1日現在）（単位：世帯）

区分	年度		
	H21年度	H22年度	H23年度
65歳以上独居世帯	455	—	385
65歳以上のみ世帯	518	—	426

2 敬老事業

9月1日において、栃木市に1年以上お住まいの方を対象に、年度年齢にて対応とし、下記の事業を実施した。

藤岡地域にて実施していた88歳の方を対象にした祝品の配付は、平成22年度にて終了した。本庁一括予算で、旧藤岡町の経過措置はなし。95歳以下の配付対応は、民生委員の協力を得た。

区 分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	137
90歳	20,000	65
95歳	30,000	26
100歳	100,000	2
101歳以上	50,000	7

3 敬老会事業

敬老事業を実施した、老人クラブ・自治会等に補助金を交付した。

- ・ 交付基準額 対象地域在住80歳以上1人につき、1,000円
- ・ 交付状況 老人クラブ16団体(46自治会分)
自治会等 15団体(27自治会分)
- ・ 交付額 1,324,000円 ※本庁高齢福祉課予算

4 老人クラブ育成指導事業

藤岡町老人クラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため、指導助成を行った。

- ・ 単位老人クラブ数(藤岡地域) 16クラブ
- ・ 藤岡町老人クラブ連合会会員数 1,016人
- ・ 助成金額 単位老人クラブ助成 811,000円 ※本庁高齢福祉課予算
藤岡町老人クラブ連合会 370,000円 ※本庁高齢福祉課予算

5 老人スポーツ大会(藤岡町老人クラブ連合会主催、事務局社会福祉協議会藤岡支所)

個人・団体競技等を行い、会員の健康増進と親睦・交流を図った。また、藤岡地域の保育園児とのダンス、各種サークルのダンス等を行い、世代間の交流を行った。

- ・ 開催日 11月11日(金)
- ・ 会 場 藤岡総合体育館

6 高齢者配食サービス事業

調理が困難なひとり暮らし高齢者、障がい者等に対し、居宅に訪問し栄養のバランスのとれた昼食弁当(1食300円)を提供することにより、利用者の健康増進を図るとともに安否確認も行った。(合併により平成22年度より開始)

- ・ 宅配個数 3,554個(実人員 41人)

- ・ 宅配業者 (株) 金時給食センター
(有) ききょう

7 老人ホーム等入所措置支援

老人ホーム等入所措置入所前の支援を実施した。(入所措置は本庁介護保険課で実施)

- ・ 養護老人ホーム入所措置支援 4 件
- ・ 特別養護老人ホーム入所措置支援 1 件

8 日常生活用具購入費等助成事業

おおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等の日常生活の安全を図るため、日常生活用具の購入費等助成を行った。

	品 目	件 数(件)
購入費助成	老人福祉車	31
	小型暖房器具	20
	電磁調理器	-
	火災警報器	-
	自動消火器	-
レンタル料助成	電動小型吸引機	-
	特殊寝台	-
	じょく創予防用具	-

9 緊急通報装置給付等事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

- ・ 設置状況 (単位：台)

既設置台数	23 年度設置台数	23 年度撤去台数	計
104	8	26	86

10 介護予防・生活支援事業

軽度生活援助員派遣委託事業・在宅老人短期入所委託事業については、合併により平成 22 年度より開始した。デイサービス事業・寝具洗濯乾燥消毒等サービス事業については、平成 22 年度にて終了した。

事 業 名	利用者数(人)	延べ回数等
緊急ホームヘルパー派遣委託事業	3	32 月
軽度生活援助員派遣委託事業	6	住まい営繕等 18 時間 除草・家事援助 63 時間
在宅老人短期入所委託事業	-	-

11 高齢者世帯等家事支援事業

本事業は、栃木県緊急雇用創出事業補助による3か年事業の3年目となった。ホームヘルパーを6か月間雇用し、虚弱な独居老人等を対象とした、介護保険サービス等の家事援助等を行った。

内 容	支援数（世帯）	延べ数(回)
家事支援等	44	170
高齢者状況把握	15	15

12 高齢者生きがいセンター管理運営委託事業

栃木市藤岡高齢者生きがいセンターの管理を、栃木市シルバー人材センターに委託した。

13 介護保険業務各種受理状況

内 容	件数(件)
要介護認定要支援認定申請 相談・受付・入力	776
介護保険被保険者証等再交付申請 受付・発行	91
介護給付費過誤申立 受付・入力（過年度分のみ）	16
介護保険住所地特例適用届 受付・入力・被保険者証発行	6
転入・転出・転居 資格管理等	3
転送希望届申請 受付・入力	27
居宅サービス計画作成依頼届 受付・入力	217
短期入所の30日を超える連続利用申請 受付・決定発行	12
短期入所の有効期間の半数超過利用申請 受付・決定発行	9
同居家族がいる場合の生活援助の提供申請 受付・決定発行	19
福祉用具購入費支給申請 受付・入力	36
住宅改修費支給申請 受付・入力・事前教示	34
高額介護サービス費支給申請 受付・入力	72
負担限度額認定証の交付申請 受付・決定発行	116
障がい者控除対象者認定申請 受付・決定発行	20
オムツ使用証明申請 受付・発行	1
介護保険事業者事故報告 受付	0

14 介護予防事業

(1) 二次予防事業

ア 二次予防事業対象者把握事業

平成22年8月の地域支援事業実施要綱改正により、対象者の把握は、基本チェックリストの該当項目により決定と変更になったため、23年度においてはすべて

の該当者に基本チェックリストを郵送し、回答を得た。

・実施状況

(単位：人)

	基本チェックリスト 回答数	生活機能評価実施数	新規二次予防事業対 象者把握数
平成21年度	2,944	531	98
平成22年度	2,904	734	304
平成23年度	3,292	—	1,094

イ 通所型介護予防事業

藤岡地域では、二次予防事業対象者（特定高齢者）に対して、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上等すべてを含めた、複合プログラムにて実施、活動的で生きがいのある生活が維持できるよう支援した。

・開催回数 4クール 計48回

・実施状況

(単位：人)

65歳以上（年度末）	二次予防事業対象者数（年度末）		参加実数	参加延べ人数
4,744	前年度継続数	290	71	776
	新規把握数	1,094		

ウ 訪問型介護予防事業

心身の状況により通所が困難な二次予防事業対象者（特定高齢者）に対して実施される事業であるが、平成23年度は該当者なしであった。

(2) 一次予防事業

ア 介護予防普及啓発事業

65歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。

事業名	開催回数(回)	参加者延べ人数(人)
転倒予防運動教室	28	535
健康相談	29	564
老人クラブ健康教室 口腔機能向上	2	34
老人クラブ健康教室 こころの健康づくり	7	160
口腔機能向上	12	186
栄養改善	12	200
認知症予防	1	19
福祉まつり時普及啓発	1	—
計	92	1,698

イ 地域介護予防活動支援事業

介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援として、藤岡地域内の自主組織「折鶴会」等を支援。事業の企画立案の支援及び活動支援を行った。

15 任意事業

(1) 介護給付等適正化事業

本庁にて作成した適正化の通知を、転送・転出・死亡等の確認後郵送を実施した。

(2) 家族介護継続支援事業

在宅の要介護認定3・4・5いずれかに認定された者を常時介護している家族の身体的・精神的・経済的負担の軽減を目的として、介護慰労のための介護手当の支給（月額3,000円）、また、同認定者に対し、紙おむつ購入費の助成（月額3,500円）を実施。

・実施状況

	上半期		下半期		合計 延べ支給月数(月)
	実人員(人)	延べ支給月数(月)	実人員(人)	延べ支給月数(月)	
介護手当	156	622	149	689	1,311
紙おむつ購入費の助成	138	538	129	581	1,119

(3) 地域自立生活支援事業

平成22年度まで、この事業において実施した老人福祉車の購入費助成については、日常生活用具購入費等助成事業として実施。

16 その他の高齢者支援事業

介護高齢担当を窓口とする高齢者の各種相談に応じた。また、地域ケア会議については、会議としての検討事例はなかったが、困難事例の処遇については、適宜関係者のみで検討を行った。

	実件数(件)	延べ件数(件)	開催回数(回)
面接	272	318	
電話相談		79	
家庭訪問	62	108	
連絡調整		45	
地域ケア会議			-

17 地域包括支援センター

(1) 地域包括支援センター設置状況

藤岡地域包括支援センター	栃木市藤岡町藤岡 1022-5 藤岡総合支所 健康福祉課内
--------------	-------------------------------

(2) 包括的支援事業

ア 介護予防ケアマネジメント事業

本庁一本にて65歳以上の高齢者（要支援、要介護認定者を除く）に対して調査票「基本チェックリスト」を送付し、回答していただくことにより、その結果に基づき生活機能が低下しているおそれのある二次予防事業対象者を把握した。

二次予防事業対象者のうち同意を得られた方を対象に介護予防プログラムを作成し予防事業を行った。

その他、指定介護予防支援事業者として、要支援者を対象とする予防給付のケアマネジメントを実施することにより、連続的で一貫性のある介護予防ケアマネジメントを行った。

・二次予防事業対象者把握状況 (単位：件)

藤岡地域配布件数	3,976
藤岡地域回答件数	3,292
二次予防事業対象者候補者数	1,242

・二次予防事業対象者の決定 (単位：件)

二次予防事業対象者の決定数	1,094
---------------	-------

・二次予防事業対象者の介護予防サービス計画作成状況 (単位：件)

地域包括支援センターによる作成件数	71
-------------------	----

・要支援1・2の介護予防サービス計画作成状況 (実人数) (単位：件)

地域包括支援センターによる作成件数	64
事業者委託件数	76
合計	140

・サービス担当者会議実施状況 (単位：件)

地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	42
---------------------------	----

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況 (単位：件)

地域包括支援センターによる作成件数	10
-------------------	----

イ 総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が継続していくことができるよう、地域関係者とのネットワークを構築するとともに、各種相談を幅広く受け付けた。

また、2か所のランチ（地域包括支援センター窓口協力業務委託）に委託し、高齢者状況調査を実施。独居高齢者及び高齢者世帯の状況を把握し、適宜必要な支援を行った。

		延べ件数(件)
地域包括支援センター	面接	35
	電話相談	443
	家庭訪問	737
ランチ委託	高齢者状況調査	300

ウ 権利擁護事業

高齢者の権利を守るため、市担当部局と連携し、専門的・継続的な支援を行った。

実施状況

		件数(件)
権利擁護（成年後見制度等）に関すること		17
高齢者虐待に関すること		5
合計		22

(3) 包括的継続的ケアマネジメント支援事業

地域における多職種連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

健康増進担当

1 生涯すこやかふじおか21プラン推進事業

「妊娠出産期・乳幼児期」「学童期」「思春期」「青年期」「壮年期」「高年期」の6つのライフステージ毎に、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう関係機関と連携し健康づくりを推進した。

主な取組

- ・乳児健診・離乳食指導等において、保護者の健康づくりの重要性について啓発
- ・乳幼児健診（4か月児・1歳6か月児）において、受動喫煙の害について啓発
- ・家族と子どもの料理教室の開催
- ・小児生活習慣病予防事業の実施
- ・脱メタボ！健康教室等を開催し、運動の重要性について啓発
- ・ふくしま祭り、産業祭等のイベントにおいて、禁煙教育を実施
- ・ふくしま祭り、産業祭において、歯周疾患予防教育を実施

2 母子保健事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした方等に対して母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケートを実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行うことにより、安心して出産を迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況 (単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数			
	妊娠届出	双胎	紛失等	
87	93	87	—	6

(2) 健康診査

ア 妊婦健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき14回の受診票を交付し、妊婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診券を配付、医療機関に委託して実施）

イ 妊婦歯科健康診査（数値は本庁健康増進課で一括計上）

妊婦を対象に口腔衛生の向上を目的とし、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の育児支援と疾病の早期発見を目的に、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により育児不安の軽減を図った。1歳6か月児や3歳児においては心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談にも応じた。

区 分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
乳児健康診査 (4か月児)	12	88	87	98.9	10	13	4	-
乳児健康診査 (9か月児)	12	104	103	99.0	17	14	2	4
1歳6か月児 健康診査	7	119	119	100.0	30	22	1	3
3歳児 健康診査	6	116	108	93.1	24	15	1	17

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見と知識の普及を目的に、健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児上の保健相談を行った。

(7) 歯科健康診査

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
6	95	71	74.7	8 (11.3%)

(イ) 保健師による2歳児育児相談

・参加者延べ人数 10人

オ 乳幼児発達相談(2次健診) (数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において発達に問題があると疑われる児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。大平・藤岡地域で合同開催し大平会場で実施した。

カ 乳児先天性股関節脱臼検診 (数値は本庁健康増進課で一括計上)

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

(3) 健康教育

ア 両親(母親)教室

妊婦と夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供し、妊婦体操、お産のリハーサル、おふろの入れ方、夫の妊婦擬似体験などの体験学習を行った。また、先輩ママやパパを招き、出産や育児の体験談を聞いたり乳児を身近に見たりすることにより、親になる自覚を促した。

・実施数 4回1コース

・参加者 (単位：人)

妊婦	夫	祖父母	先輩ママ	先輩パパ
27	8	2	5	1

イ すくすく教室(子育て支援教室)

すくすく教室では2～5か月児を対象に、よりよい親子関係の育成を目的として、子どもの発達に合わせた育児知識の提供や親同士の交流を図った。

・実施数 2回1コース(年6コース)

・参加者延べ数 87組

・内容 離乳食教室、ベビーマッサージ講習、子育てアドバイス等

ウ 健診事後教室(ちゃいちゃいぐるーぷ、ぺんぎんぐるーぷ)(数値は大平総合支所健康福祉課で一括計上)

幼児健康診査等で精神・言語発達面に遅れがある幼児や、子育てに不安を持つ保護者の中で継続支援が必要な親子を対象に、集団遊びや親同士の交流、個別相談を通して、より良い親子関係を築き、幼児の健全な心身の発達が図れるよう支援した。

大平・藤岡地域で合同開催し、大平会場で実施した。

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情を高めるため、小中学校の児童生徒とその保護者を対象に、保健教育を行った。

対 象		実施回数(回)	参加人数(人)
授業協力	小学校	1(1校)	25
講演会※	中学校	1(1校)	104 保護者12

※小児生活習慣病予防健康教育と同時実施

オ 小児生活習慣病予防事業

小児肥満や小児生活習慣病の実態を把握し、小児生活習慣病予防健診や健康教育を行った。

(7) 小児生活習慣病予防健診

対 象	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)
小学4年生	4(4校)	133	132
中学1年生	2(2校)	136	132

(イ) 小児生活習慣病予防健康教育

対 象	実施回数(回)	参加人数(人)
小学4年生とその保護者	1(1校)	28 保護者25
中学1年生とその保護者	1(1校)	104 保護者12

(ウ) 学校との情報交換

事業名	対 象	実施回数(回)
学校保健委員会	学校保健委員	2(2校)

カ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配付を行った。

- ・実施回数 12回(9か月児健康診査終了後)
- ・参加者延べ数 103組

キ フッ素塗布事業

歯の衛生週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と1市2町の共催で小学1年生と年長児に対しフッ素塗布及び歯科医師による歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ素塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
45	30	75

ク よい歯のコンクール(数値は本庁健康増進課で一括計上)

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を対象にコンクール(3歳児の部、親と子の部)を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの1次審査を兼ねており、成績優秀者は、県南地区の2次審査に推薦した。

(4) 健康相談

ア 子育てサロン

子育てについて適切な相談、助言を行うことで、育児の不安感の軽減を図り、前向きに育児ができるよう支援した。個別相談のほか、身体計測、発達チェック及び離乳食やおやつの摂り方についてのグループ指導等を実施した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 210人(105組)

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい軽度発達障がい等について、診断の有無に関わらず支援を行うとともに、構音障がいや肥満等への支援を目的に、年中児を対象に、市内幼稚園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を実施した。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結果内訳					
	異常なし	今回のみ指導	要経過観察	2次健診・医療機関紹介	相談事業・療育機関紹介	フォロー継続中
120	66	6	26	11	5	6

ウ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して、助言指導することを目的に、保健師、在宅助産師による訪問指導を行った。

- ・指導実数 6件
- ・指導延べ数 7件

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握や助言を行い、支援が必要な家庭に対し適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を実施した。

- ・訪問数 86件

(5) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（藤岡地域22人）が、妊産婦や乳児の家庭訪問及び子育て教室の協力を行った。活動を通し地域と行政のパイプ役を担った。

活動内容	妊婦関係	乳幼児関係	その他	計
件数(件)	77	25	20	122

3 特定健康診査等

メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査及び特定保健指導を行った。

(1) 特定健康診査、後期高齢者健康診査及びヤング健診（数値は本庁健康増進課で一括計上）

- ・実施回数 15回
- ・実施場所 藤岡保健福祉センターほか

(2) 特定保健指導

区分	対象者数(人)	保健指導数(人)	初回指導率(%)
積極的支援	35	25	71.4
動機付け支援	68	51	75.0
合計	103	76	73.8

(3) メタボ予防講座（特保該当者）

ア 食と体のおもしろ体験講座

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 7回
- ・参加延べ人数 15人

イ チャレンジ運動教室

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 10人

4 健康診査事業(健康増進法による健診)

健康増進法に基づき、健康診査、各種がん検診、肝炎ウィルス検査、骨粗しょう症検診及び歯周疾患検診（個別検診）等を行った。

- ・集団健診実施回数 15回
- ・集団健診実施場所 藤岡保健福祉センターほか

5 結核検診事業

結核の早期発見、早期治療を図るため、下都賀郡市医師会病院に委託し、胸部レントゲン検査を各会場で行った。

- ・実施会場数 45会場
- ・受診者数 2,083人

6 健康づくり事業

(1) 健康教育

ア 食と体のおもしろ体験講座（特保該当者の講座と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための栄養指導を行った。

- ・実施回数 7回
- ・参加延べ人数 16人

イ チャレンジ運動教室（特保該当者の教室と同時開催）

メタボリックシンドロームの予防や改善のための運動指導を行った。

- ・実施回数 14回
- ・参加延べ人数 225人

ウ 歯周疾患病予防教育

歯の健康やセルフケアの基本方法等について指導を行った。

- ・実施回数 2回
- ・参加延べ人数 93人

エ 出前講座

地域や団体において、生活習慣病予防を図るための健康講話等を行った。

- ・実施回数 3回
- ・参加延べ人数 61人

(2) 健診結果説明会

- ・実施回数 15回
- ・参加人数 88人

(3) 健康相談・栄養相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 7回
- ・延べ相談者数 15人
- ・内容 保健師・管理栄養士による個別相談

(4) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、より具体的な栄養指導を行った。

- ・実施回数 10回（定期ほか1回含む）
- ・延べ相談者数 14人
- ・内容 管理栄養士による個別指導

・指導内訳 (単位：件)

糖尿病	10	高血圧	7	脂質異常症	4
肝臓病	-	腎臓病	1	その他	1

7 自殺予防対策事業

自殺者が増加している深刻な現状があることから、地域の自殺の現状を理解することや自殺に対する正しい知識の普及啓発を図った。

(1) 老人健康教室

- ・各地区公民館 7回
- ・参加人数 160人

(2) 啓発

各種事業時において、自殺予防相談窓口や自殺予防のための内容を含めたチラシ、パンフレット及びポケットティッシュ等啓発物品を配布した。

8 予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

小児の感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種、高齢者インフルエンザ予防接種を実施した。

(1) 定期予防接種

各種の定期予防接種対象者に個人通知を行い接種勧奨した。

ポリオ投与は集団接種で、他の予防接種は、予防接種協力医療機関において個別接種で実施した。

ア 集団接種

ポリオ投与（小児マヒ）

- ・実施回数 4回
- ・実施場所 藤岡福祉センター（現 藤岡公民館）

イ 個別接種

BCG、三種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風）、麻しん風しん（混合）、日本脳炎、高齢者インフルエンザ

(2) 任意予防接種

小児肺炎球菌ワクチン、インフルエンザ菌b型（ヒブ）ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、小児インフルエンザを各予防接種協力医療機関において希望者に実施した。

9 地域保健対策推進事業

(1) 健康まつり事業

市民の健康意識の高揚を図るため、ふくしまつり及び産業祭に参加し地域における健康づくりを推進した。

ア ふくしまつり

- ・実施日 10月16日（日）
- ・場 所 藤岡公民館
- ・参加者 健康チェックコーナー 61人
歯周疾患検査・ブラッシング指導 43人
減塩みそ汁試飲コーナー 57人

イ 産業祭

- ・実施日 11月26日（土）

- ・場 所 藤岡総合体育館
- ・参加者 健康チェックコーナー 88人
歯周疾患検査・ブラッシング指導 50人
減塩みそ汁試飲コーナー 85人

(2) 食生活改善地区組織活動

栃木市食生活改善推進団体連絡協議会藤岡支部(会員数28人)では、地域住民を対象に、食育活動や食事バランスガイドの普及、食生活改善のための講習会などを行った。

- ・各講習会 4回
- ・参加人数 88人

(3) 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・訪問世帯数 136世帯
- ・保健師訪問指導延べ人数 235人

内訳

(単位：件)

精神保健	59	妊産婦	73	乳幼児	75	生活習慣病	1
新生児	7	低体重児	-	他の疾患	-	その他	19
心身障がい	-	結核	1				

10 献血事業

人命を左右する血液の確保のため、献血事業を行った。

実施日数(日)	受付(人)	200ml献血(人)	400ml献血(人)	成分献血(人)	献血者計(人)	不適格者(人)
1	19	3	7	7	17	2

11 藤岡保健福祉センター利用状況

区分	会議室	検診ホール	調理実習室	その他	合計
利用者数(人)	-	123	-	-	123

※10月開館。当課事業及び市関係団体の通年使用を除く。

12 渡良瀬の里利用状況

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グランドゴルフの利用できる施設として運営しており利用状況は次のとおりである。

(1) 利用状況

- ・年度別利用者数

区分	年度		
	平成21年度	平成22年度	平成23年度
利用者数	28,107人	27,182人	24,693人

- ・開館日数 294日
- ・1日平均入場者 84.0人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	市内 (人)	市外 (人)	小学生 以下 (人)	障害者 (人)	回数券利用		計 (人)	利用料 (円)	開館 日数 (日)
					市内 (人)	市外 (人)			
4	578	167	6	104	139	19	1,013	128,400	17
5	1,246	383	24	199	271	32	2,155	256,400	25
6	1,239	455	20	169	225	33	2,141	248,800	26
7	1,494	347	13	187	208	28	2,277	249,000	27
8	987	344	44	196	208	21	1,800	206,900	26
9	1,216	258	33	188	236	48	1,979	204,700	26
10	1,362	352	31	206	223	19	2,193	237,500	26
11	1,299	422	34	195	175	26	2,151	257,300	24
12	1,303	293	22	187	216	12	2,033	213,100	23
1	1,374	306	24	222	290	21	2,237	246,800	23
2	1,506	265	12	239	324	26	2,372	238,300	25
3	1,502	240	15	261	300	24	2,342	221,400	26
計	15,106	3,832	278	2,353	2,815	309	24,693	2,708,600	294

(2) イベント状況

事業名	実施回数(回)	備考
カラオケ大会	10	4月、10月を除く10か月に実施
歌謡ショー	11	毎月10日に実施(4月は臨時休館)

こども担当

1 放課後児童健全育成事業

家庭外就労等で保護者が留守のため、下校後に保護指導を十分に受けることができない児童を対象に、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として、藤岡地域4か所の小学校区内において実施した。

・放課後児童会入会者数

(単位：人)

児童会名	1学年			2学年			3学年以上			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
部屋(部屋小)	5	5	10	5	5	10	6	10	16	16	20	36
藤岡(藤岡小)	1	1	2	1	5	6	2	7	9	4	13	17
赤麻(赤麻小)	3	4	7	1	5	6	2	3	5	6	12	18

三 鴨（三 鴨 小）	1	-	1	5	-	5	3	1	4	9	1	10
計	10	10	20	12	15	27	13	21	34	35	46	81

2 幼稚園就園奨励費補助金交付事業

私立幼稚園に就園する満3歳児、3歳児、4歳児及び5歳児の保護者を対象とした保育料の減免措置に伴う補助金交付事務を行った。

(1) 国庫補助事業

- ・ 交付対象人数 213人
- ・ 交付金額 23,101,900円

(2) 県補助事業

- ・ 交付対象人数 4人
- ・ 交付金額 498,000円

(3) 市単独補助幼稚園第三子以降支援特別就園奨励費補助事業

- ・ 交付対象人数 27人
- ・ 交付金額 4,750,800円

(4) 市単独補助幼稚園補助対象外児特別就園奨励費補助事業

- ・ 交付対象人数 38人
- ・ 交付金額 228,000円

3 地域子育て支援センターふじおか

(1) 利用者数推移

(単位：人)

年齢 年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合計
21年度	240	375	133	44	3	1	1	710	1,507
22年度	263	331	344	102	3	1	2	822	1,868
23年度	279	777	543	237	32	20	13	1,557	3,458

(2) 活動状況

ア 定例遊び

わくわくタイム

- ・ 実施曜日 毎週金曜日
- ・ 実施日時 午前10時30分～11時30分
- ・ 実施内容 集団親子活動を行い、歌、ふれあい遊び、体操遊び、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。
- ・ 実施回数 13回
- ・ 参加者 延べ267人

イ 特別活動

No	活動名	参加人数(人)
1	子育て講話	8
2	子育てヨガとアラカルト	52

3	親子リトミック	103
4	身体手形測定（4回）	199
5	クリスマス会	115
6	親子ピクス	39
7	豆まき	56
8	おたのしみ広場	56
9	ひな祭り	57
10	おたのしみ会	63
合 計		748

ウ 子育て相談

相 談 内 容		相談 件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関するこ と	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	4	4	0
排泄に関するこ と	おむつはずし、便秘 ほか	6	6	0
睡眠に関するこ と	夜更かし、夜泣き眠りが浅い ほか	3	3	0
健康に関するこ と	ほふく、歩行、身体の発達、健康 ほか	3	3	0
ことばに関するこ と	発語が遅い・幼児語 ほか	0	0	0
対 人 関 係	他の子とのかかわり ほか	1	1	0
そ の 他	性格・育児依頼・入園・病気・親のストレス・家庭環境・祖父母との関わり ほか	10	10	0
合 計		27	27	0

4 子ども手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者へ案内・受付を行った。

・子ども手当受付件数 225件

5 赤ちゃん誕生祝い金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化並びに子育て支援対策に資することを目的に、藤岡町内在住の第三子以降の赤ちゃんの誕生に祝金を交付した。（経過措置）

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的に、市内に住所を有し、

1 子以上の児童を養育し、出産した者に赤ちゃん誕生祝金申請の受付を行った。

事業名	祝金額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子 10,000円	27
	第三子以降 20,000円	18
赤ちゃん誕生祝金事業 (経過措置※)	第三子以降 50,000円	7

※経過措置の対象となるのは平成23年3月31日までに生まれた赤ちゃん

6 チャイルドシート購入費助成金事業

子どもを乗車中の事故から保護し、健やかな成長を助長することにより、児童福祉の増進を図るため、助成申請の受付を行った。

- ・助成額 購入費の1/2以内の額
限度額5,000円(～H23.6月購入分10,000円)
- ・受付件数 47件(内6月購入分まで22件)

7 児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって片親と生計を同じくしていない児童、または片親が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内・相談・受付を行った。

種別	受付件数(件)
児童扶養手当	14
遺児手当	—

8 障がいに関する手当

福祉の増進を図るため、障害を有する20歳未満の児童を養育する保護者に特別児童扶養手当、重度の障害を有する20歳以上の方に特別障害者手当、重度の障害を有する20歳未満の児童に障害児福祉手当、重度の障害を有する20歳未満の児童の保護者に重度心身障がい児扶養手当、特定疾患者及び介護者の労苦を見舞うために特定疾患者介護手当の案内・受付を行った。

種別	受付件数(件)
特別児童扶養手当	4
特別障害者手当	4
障害児福祉手当	2
重度心身障がい児扶養手当	0
特定疾患者介護手当	14

9 保育所

保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において充分児童を保育することができない場合、保護者に代わり一般家庭と同様に保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、子どもを取り巻く社会環境の変化に対応し、地域における子育て支援のため、乳幼児などの保育に関する相談や助言等を行った。

(1) 保育所入所状況

ア 児童定員・異動状況

(単位:人)

区分	保育園名	定員	23年4月1日 入所児童数	途中入所 児童数	退所児童数	24年3月1日 入所児童数
公立	三鴨保育園	45	23	3	-	26
	赤麻保育園	45	23	3	1	25
	部屋保育園	60	40	5	-	45
	藤岡保育園	60	49	4	8	45
	計	210	135	15	9	141

イ 階層別児童数 (3月1日現在)

(単位:人)

区分	保育園名	1階層	2階層	3階層	4階層	5階層	6階層	7階層	8階層	9階層	計
公立	三鴨保育園	-	3	2	8	5	2	4	2	-	26
	赤麻保育園	-	5	1	4	3	8	2	1	1	25
	部屋保育園	-	5	9	12	12	4	3	-	-	45
	藤岡保育園	2	11	6	10	8	3	4	-	1	45
	合計	2	24	18	34	28	17	13	3	2	141

※ 階層：所得税・市民税の合計により算定する保育料の区分

ウ 年齢別児童数 (3月1日現在)

(単位:人)

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	計
公立	三鴨保育園	2	6	1	7	10	26
	赤麻保育園	2	3	3	5	12	25
	部屋保育園	2	4	4	7	28	45
	藤岡保育園	3	3	6	10	23	45
	合計	9	16	14	29	73	141

(2) 施設運営全般

施設運営上の目標

- ・ 幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
- ・ 幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
- ・ 保育内容の充実と技術の向上
- ・ 安全対策と保護者との対応

- ・地域における子育て支援

(3) 保健管理

ア 健康診断の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 月	結 果 と 措 置
健康診断	2	9月・2月	結果については、保護者連絡
歯科検診	2	6月・11月	結果については、保護者連絡

イ 検便等の実施状況

区 分	回数(回)	実 施 日	結 果 と 措 置
寄生虫卵	2	6月23日・11月17日	結果については、保護者連絡
検尿検査	2	6月23日・11月17日	結果については、保護者連絡

ウ 健康状態の観察及び個別検査の状況

(ア) 観 察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察、保護者から家庭での状況を聴取して対応

(イ) 個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置

(ウ) 伝染病の発生と管理

流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応

・発生件数 なし

(4) 児童保育の内容

ア 保育目標

- ・心身ともに健康なこども
- ・自分で考えて行動するこども
- ・喜んで話したり聞いたりするこども
- ・人とのかかわり合いの中で相手を思いやるこども
- ・豊かな感性をもつこども
- ・地域の中で育つこども

イ 保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年間計画、月案、週案、日案の計画を立てる。

ウ 年間行事実施状況

区 分	社会的行事に合わせた行事	主 な 行 事
4月		入園式
5月	こどもの日、母の日	園外保育
6月	歯の衛生週間、父の日、時の記念日	みかも山ハイキング
7月	七夕祭り	納涼祭
8月		
9月	防災の日、敬老の日	運動会（部屋）
10月	体育の日	運動会（藤岡・三鴨・赤麻）、

		みかも山ハイキング、親子旅行
11月		
12月	師走	もちつき会、クリスマス会
1月	お正月	保育参観（藤岡・部屋・三鴨）
2月	節分(まめまき)	保育参観（赤麻）、お別れ遠足
3月	ひなまつり	お別れ会、卒園式

※その他、2か月に1回誕生児の誕生会を催す。

エ 一時保育の状況

実施保育園名	延べ利用者数(人)
三鴨保育園	93

オ 低年齢児保育（0、1、2歳児）（平成24年3月1日現在・単位：人）

区分	保育園名	0歳	1歳	2歳	計
公立	三鴨保育園	2	6	1	9
	赤麻保育園	2	3	3	8
	部屋保育園	2	4	4	10
	藤岡保育園	3	3	6	12
合計		9	16	14	39

カ 保護者との連携

- ・保育参観
- ・送迎時の連絡
- ・子育て等相談

(5) 防災対策の状況

- ア 設備、遊具等の整備点検
- イ 避難訓練
- ウ 安全のための実施訓練
 - 事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的を実施

(6) 給食実施状況

- ア 予定献立の作成
 - 副食は給食センターの栄養士が献立を作成する。
 - おやつは副食の献立を元に保育園で作成する。

イ 給食構成

- ・乳児 主食、副食、おやつ
- ・幼児 副食、おやつ

ウ 1日当たり平均栄養摂取量状況（1日当たりの平均栄養摂取量 副食＋おやつ）

保育園名	栄養素等 (kcal)	たん白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄分 (mg)	ビタミ ン				食塩相当量 (g)
						A (μgRE)	B ₁ (mg)	B ₂ (mg)	C (mg)	

藤岡地域内 4 保育園	392	17.7	14.1	268	2.1	206	0.26	0.45	31	1.9
-------------	-----	------	------	-----	-----	-----	------	------	----	-----

(ア) 3歳未満児（主食及び副食＋おやつ）

栄養給与目標	510	20.2	11-17	230	2.7	130	0.25	0.28	20
--------	-----	------	-------	-----	-----	-----	------	------	----

(イ) 歳以上児（副食＋おやつ）

栄養給与目標	400	19.0	13-20	270	2.2	130	0.30	0.35	20
--------	-----	------	-------	-----	-----	-----	------	------	----

エ おやつについて

- ・ 1週のうち1日一手作りおやつまたは給食センターからのおやつ
- ・ その他一せんべい、クッキー等の市販品

(7) 特別保育科目設定実施事業

ア 世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

実施保育園	実施回数(回)
藤岡保育園	2
赤麻保育園	1
三鴨保育園	2
部屋保育園	2
合計	7

イ 異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。また、小学生の訪問受け入れや小学校を訪問して交流を行った。

実施保育園	実施回数(回)
藤岡保育園	2
赤麻保育園	3
三鴨保育園	2
部屋保育園	3
合計	10

ウ 子育て・仕事両立支援

乳幼児を持つ保護者等に対して育児に関する情報提供等を通知で行った。